

教育目標

自ら求めて学び、心豊かに、たくましく行動する生徒の育成

学習における生徒の実態・課題

①令和3年度学習に関するアンケート(6月)で課題となる項目	【肯定的評価の割合】
・話を聞く姿勢ができていない	6月 67.8% → 3月 %
・家庭学習では、何をしようか迷わない	6月 45.6% → 3月 %
・家庭学習の時間(2時間以上 塾を含まない)	6月 16.7% → 3月 %
②令和3年度 全国学力・学習状況調査から	【全国比】
・将来の夢や目標を持っていますか	86.4% (+17.8)
・学んだことを生かして、自分の考えをまとめる	40.5% (-19.0)

学力向上のための方策

①学ぶ意志と態度を育成する
<ul style="list-style-type: none"> ・「あじさいスタンダード」を意識し、生徒の学ぶ意欲を引き出し、一人ひとりが分かる授業、一人ひとりを伸ばす授業の実践 ・ゴールを見据えた「めあて」の提示※ →学習に関するアンケート「授業中は、今何をしているのか(今何をやる時間なのか)意識しながら学習に取り組んでいる」 目標：学校全体の肯定的割合 90%以上(6月 82.2%) ・学習規律の確立「授業四原則」(1分前着席・あいさつ・返事・聞く姿勢態度)※ →学習に関するアンケート「1分前着席ができていない」「授業中にきちんと返事ができていない」「授業中に話を聞く姿勢ができていない」 目標：学校全体の肯定的割合 90%(6月 91.1%、73.3%、67.8%)
②基礎的・基本的な学力の定着を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・個の状況に応じた、個が伸長する指導 ・学校図書館、ICT 機器、インターネット等の効果的活用、クローズドブック利用率向上プランの実施 →学校評価「先生は電子黒板や書画カメラなどを使って、授業がわかりやすくなるように工夫している」 目標：学校全体の生徒の肯定的割合を 85%以上(6月 91%) ・家庭学習の支援を視野に入れた授業(授業の振り返り「わかったタイム」の充実)※ 課題の精選 →学習に関するアンケート「家庭学習が学力向上に役立つと思っている」「家庭学習(予習・復習)の仕方が理解できている」 目標：学校全体の肯定的割合 85%以上(6月 87.8%、76.7%)
③思考力・判断力・表現力を育成する
<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと・話すこと」の重視 ・言語活動の充実(短学活等での1分間スピーチの実施)
④一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する
<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導の充実
※令和元～3年度校内研究重点事項

各教科における課題(◎)と改善策(・)

<p>国語</p> <p>◎基礎・基本の定着が不十分である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書の活用を積極的に行う ・授業で小テストを行い、漢字、文法などの知識の定着を図る ・根拠を明確にして書くこと、話すことを徹底させる ・主語・述語を意識し、書く、話す内容を考えさせる 	<p>社会</p> <p>◎知識の定着させる努力を面倒がるため定着しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に大事なところを声に出して復唱する ・わかったタイムで授業のまとめの部分を声に出して復唱する ・予習として、教科書を読んでくる。 ・定期テストの平均点を各学年 10 点アップ ・授業中に教科書の音読場面を増やす 	<p>数学</p> <p>◎基礎・基本の定着が図られていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で大切な事項の復唱や授業のポイントを適時、振り返る ・図や表、式、グラフを関連させながら問題解決させる ・問題解決の見通しを立て、解決に用いる手段や考え方を明確にする ・教え合い、学び合う時間を設定し、問題解決に向かう意欲を高める ・小テストを実施し、学習内容の定着を図る
<p>理科</p> <p>◎繰り返し学習することが不足しているため、学力が定着しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習や小テストを授業の中で多く行い基礎基本を徹底する ・わかる喜び、できた喜びを感じさせる授業を仕組む ・教え合える雰囲気づくりをする 	<p>音楽</p> <p>◎基礎的学力の定着が不十分な生徒がいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表やワークシートなどを活用しながら生徒の状況に応じて指導していく 	<p>美術</p> <p>◎基礎・基本の定着が不十分で、創造的な発想・表現を苦手として積極性に欠ける生徒がいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制限期日・時間に作品を仕上げるなど、課題設定をして取り組ませる ・制作意欲につながる題材の設定・教科指導の工夫を行う
<p>保健体育</p> <p>◎一つ一つの運動課題の取組が雑である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の行い方や効果を確認しながら取り組ませる ・グループ活動や話し合い、ペアを組んでの観察やアドバイスの機会を多くとり入れる 	<p>技術・家庭</p> <p>◎様々な事象を理論的に説明できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、理論的な文書を読み取れない ・長いプロセスを必要とする質問でなく、短いプロセスで理論的に回答できるように質問に努める ・説明書をゆっくり読み取らせながら、作成作業を進めさせる 	<p>英語</p> <p>◎基本的な文法や重要単語の定着度が不十分である。自分の意見を持つての表現活動が苦手である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現が身につくように、授業で小テストを行い、家庭学習を促す ・英作文での表現活動を定期的の設定し、書くことに慣れさせる

【全教科共通 重点実践事項】 「基礎学力の定着」と「表現力の育成」